

新たな含有化学物質情報伝達スキーム の導入による改善（イメージ）

〔サプライチェーンの川上・川中・川下における各事業者から見て〕

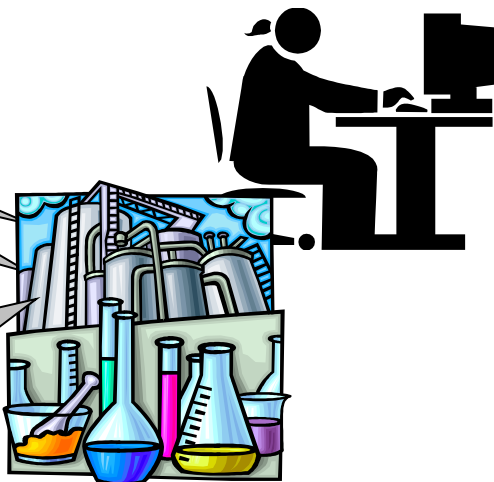
混合物メーカーの場合

これまで

調達する化学品の含有化学物質情報を提供してもらえない!!

SDSの成分情報だけは、含有化学物質の情報は十分ではない!!

自社の製品が最終的にどのような用途に用いられるのかわからないのに、「RoHS指令」に適合しているか、と言われても回答できない!!



自社の製品は化学品なので、成形品の含有化学物質情報のフォーマットで回答を求められても困る!!

含有化学物質情報のフォーマットが何種類もあって、データ入力が非常に大変!!

特に、個社独自のフォーマットは、対象物質も情報項目も異なり、負荷が大きい!!

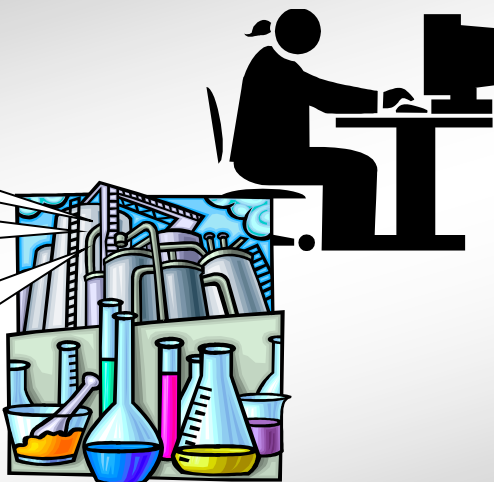
人数が限られているため、何種類ものツールやフォーマットのマニュアルを読んで理解している時間がない!!

新スキームを活用すれば

最終製品分野によらず、特定された対象物質とその報告閾値に従って、化学品の含有化学物質情報を提供できるようになった!!

含有化学物質の情報提供を依頼したら、すぐに入手できた!!

調達する材料の含有化学物質情報を蓄積することが容易になり、自社の知見も増えてきた!!



一つのスキームで、多くの顧客に情報を提供できるようになり、作業負荷が減った!!

自社製品の含有化学物質情報を蓄積できるようになり、自社の知見も増えてきた!!

情報伝達の範囲が明確になり、わかりやすい。顧客ともコミュニケーションできるようになった!!

めっき業者の場合

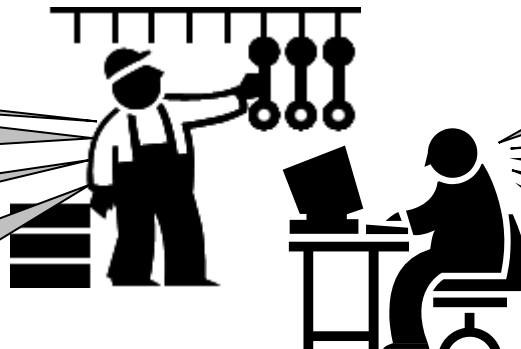
これまで

めっき薬品の含有化学物質情報を提供してもらえない!!

特に添加剤の情報がもらえない場合が多い!!

めっき薬品のサプライヤが大企業なので、情報提供を依頼しにくい!!

SDSの成分情報だけは、含有化学物質の情報は十分ではない!!



めっき膜の含有化学物質情報を把握できない!!

めっき膜の厚さは、どうすればいい?母材の正確な形状もわからない!!

含有化学物質情報のフォーマットが何種類もあって、データ入力が非常に大変!!

特に、個社独自のフォーマットは、対象物質も情報項目も異なり、負荷が大きい!!

人数が限られているため、何種類ものツールやフォーマットのマニュアルを読んで理解している時間がない!!

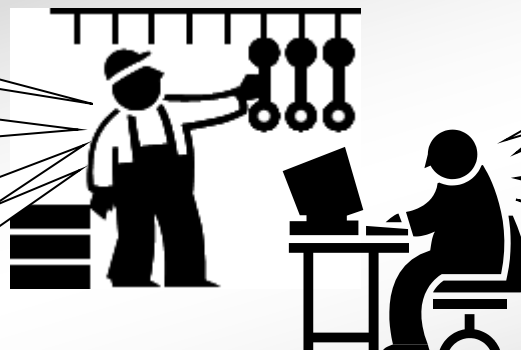
新スキームを活用すれば

めっき薬品メーカーが、SDSと一緒に含有化学物質情報を提供してくれた!!

含有化学物質の情報提供を依頼したら、すぐに入手できた!!

めっき薬品の含有化学物質情報を蓄積することが容易になり、自社の知見も増えてきた!!

めっき薬品メーカーとコミュニケーションできるようになった!!



一つのスキームで、多くの顧客に情報を提供できるようになり、作業負荷が減った!!

自社製品の含有化学物質情報を蓄積できるようになり、自社の知見も増えてきた。

情報伝達の範囲が明確になり、わかりやすい。顧客ともコミュニケーションできるようになった!!

めっき向けのガイダンスには、めっき膜に含有される化学物質の把握の方法やめっき膜厚の考え方なども書かれていて参考になった!! 顧客とも、含有化学物質の情報作成の考え方を共有できた!!

樹脂射出形成業者の場合

これまで

調達する材料の含有化学物質情報を提供してもらえない!!

特に難燃剤や紫外線吸収剤等の添加剤の情報がもらえない場合が多い!!

樹脂ペレットのサプライヤが大企業なので、情報提供を依頼しにくい!!

SDSの成分情報だけは、含有化学物質の情報は十分ではない!!



製造した樹脂部品の含有化学物質情報を把握できない!!

ナチュラルコンパウンドやマスターバッチの情報から樹脂部品の含有化学物質情報をどのように作成すればいいかわからない!!

含有化学物質情報のフォーマットが何種類もあって、データ入力が非常に大変!!

特に、個社独自のフォーマットは、対象物質も情報項目も異なり、負荷が大きい!!

人数が限られているため、何種類ものツールやフォーマットのマニュアルを読んで理解している時間がない!!

新スキームを活用すれば

材料メーカーが、SDSと一緒に含有化学物質情報を提供してくれた!!

含有化学物質の情報提供を依頼したら、すぐに入手できた!!

調達する材料の含有化学物質情報を蓄積することが容易になり、自社の知見も増えてきた!!

材料のサプライヤとコミュニケーションできるようになった!!



一つのスキームで、多くの顧客に情報を提供できるようになり、作業負荷が減った!!

自社製品の含有化学物質情報を蓄積できるようになり、自社の知見も増えてきた。

情報伝達の範囲が明確になり、わかりやすい。顧客ともコミュニケーションできるようになった!!

樹脂成形工程向けのガイダンスには、樹脂部品(成形品)の含有化学物質情報の作成方法、含有化学物質管理のポイント等が書かれていて参考になった!! 顧客とも、含有化学物質の情報作成の考え方を共有できた!!

川下メーカーの場合

これまで

サプライヤから調達する部品やサブアセンブリの含有化学物質が提供されないケースがまだまだ多い!!

川下メーカーでも、含有化学物質情報の提供を、依頼しにくいケースがある。



サプライヤから提供される含有化学物質情報の信頼性が低い!!

サプライヤに含有化学物質情報を提供してもらうために実施する教育研修の負担が大きい!!

新スキームを活用すれば

サプライチェーンにおける情報伝達が円滑化され、必要な含有化学物質情報を早く確実に入手できるようになった!!

サプライヤに含有化学物質の情報提供を依頼しやすくなった!!

サプライヤに対する普及・教育等の負荷が減った!!

情報伝達の範囲が明確になり、サプライヤともコミュニケーションできるようになった!!



含有化学物質情報を事前に準備するサプライヤが多くなり、情報入手までにかかる時間が短くなった。

「責任ある情報提供」の考え方が認識され、含有化学物質情報の信頼性が向上した!!

サプライヤから提供される含有化学物質情報の内容とサプライヤにおける製品含有化学物質管理の状況に応じて、別途入手していた「不使用証明」を一部廃止したり、受入検査を簡素化するなど、取組を効率化することができた!!